

第3回玉野市廃棄物減量等推進審議会会議録

日時	令和5年11月30日10:00~11:30	場所	玉野市水道庁舎1階大会議室
出席者	委員	8名	
	事務局	6名	
協議事項	1. 開会 2. 議事 (1) 玉野市一般廃棄物処理基本計画(素案)について 3. 閉会		
提出資料	第1回玉野市廃棄物減量等推進審議会 次第 資料1 玉野市一般廃棄物処理基本計画(素案) 資料2 本計画における人口推計		

審議会協議事項及びその内容

1. 開会

令和5年11月30日10:00 開会

【事務局】

本会議の開催については、玉野市廃棄物減量等推進審議会条例第6条第2項の規定により、委員総数のうち過半数の出席が要件のところ、本日8名のご出席、1名のご欠席により、開会条件を満たしていることをご報告いたします。また、本会議は玉野市審議会等の会議の公開に関する要綱第3条第1項の規定により、公開で行われることをご報告いたします。

2. あいさつ

開会にあたり、会長よりごあいさつを行った。

3. 議事

【事務局】

審議会条例第5条第2項の規定により、会長に議長をお願い致します。会長、よろしくお願いたします。

【会長】

わかりました。それでは議事に入ります。議事(1)「(1) 玉野市一般廃棄物処理基本計画(素案)について」について事務局は説明をお願いします。

【事務局】

(「資料1 玉野市一般廃棄物処理基本計画(素案)について」及び「資料2 本計画における人口推計」を提示し、ご説明を行った。)

【会長】

今の説明に対して、ご質問はありますか。

【委員】

第3回玉野市廃棄物減量等推進審議会会議録

審議会協議事項及びその内容

生活排水について、あまり水を綺麗にしすぎると生物が生息できなくなると聞いた。良くないのではないかと。

【事務局】

おっしゃる通りではあるかとは思いますが、ただ、生活排水を河川に流すことで、綺麗とは言えない湖などもある現状にあります。何が正しいかをはっきり申し上げることはできませんが、今後も継続して生活排水を河川にそのまま垂れ流す行為は、過去の公害問題も含めてNGであるともいえます。今後研究が進み、取り組みとして提示できるようになるのではないかとと思いますが、現在の方針としては、記載のとおりとしております。

【委員】

市民への普及啓発方法の1つとして、ごみステーションに分別徹底のステッカーを張ったりするのも良いのではないかと。ごみステーションでのマナー違反もあることから、ごみステーションという目のつくところに掲示することで、自然と意識が向くような方法が良いのではないかと。

【事務局】

現在、一部のステーションには求めに応じて配布を行っております。すべての地区にごみステーションがあるものではないので、そういった地域に対しても方法を考えていきたいところがございます。

【委員】

P81に情報発信による普及啓発が記載されていますが、「広報たまの」での具体的な内容の発信はとても大切だと思う。例えばシリーズで食品ロスについてや水切りについてPRをしていただいたら良いのではないかと。普段和田地区のコミュニティで便りを配布しているが、この便りにもそれらの内容を載せていきたいと思っている。和田地区では、冊子よりもチラシのほうが読んでもらえる確率が高いとの意見もある。

【事務局】

「広報たまの」では施策のとおり、周知を行っているところではございますが、自治会に参加していない方や、HPを見られない方もいらっしゃることから、「広報たまの」の広報をすることも必要かと思っております。今後も、より広く伝わるような方法を探していきたいと思っております。

【委員】

資源化率の向上のためにはいろいろな取り組みがあると思う。玉野市は高齢化が進んでいるので、紙おむつのリサイクルにチャレンジしてみたいか。玉野市のドラッグストアでは幼児用紙おむつと比較して、大人用紙おむつは4倍売れていると聞いた。

【事務局】

紙おむつリサイクルの先進事例として、鹿児島県の志布志市が民間企業と共同で行っている事例があります。玉野市で紙おむつリサイクルを行う場合には、そういった民間企業との協力が不可欠となります。玉野市の近隣で紙おむつリサイクルを行える民間企業がある場合には、機会があれば協働して行っていきたいです。

第3回玉野市廃棄物減量等推進審議会会議録

審議会協議事項及びその内容

【委員】

スーパーに食品ロスの回収ボックスがあった。市役所でも設置は可能でしょうか。

【事務局】

まず、一般廃棄物処理基本計画は、「ごみを減らす」という観点での計画となります。玉野市で実施をする場合、引き取り先がなくごみになってしまった場合の対応や、設置場所や保管場所の問題等が生じてきます。また、一般的にこういった活動のバックボーンとしてボランティア団体がいらっしゃるので、ボランティア団体によって行われる活動には賛同をしていきたいと思えます。

【委員】

福祉課はボランティア団体とのつながりはないのか。

【事務局】

私たちは環境保全課ですので、お答えが難しいです。

【委員】

拠点回収に衣類を出しに行った。びんと缶は月に1回の回収なので、一緒に排出できるようにしてもらえれば助かる。拠点回収の場所は増やせないのか。

【事務局】

収集頻度は、収集量に応じた収集となっています。今後、新たな分別収集方法に変更する場合には、それらも鑑みて検討を行います。

【副会長】

P51の目標達成のための施策について、将来的には可能な範囲でモニタリング指標を設置し、PDCAの参考とするのが良いかと思う。アンケートの設問も、モニタリング指標として活用できるのではないかと思う。

P55やP61の、事業者に対する推進や回収・資源化ルートの構築は許可業者や資源回収業者との連携がないと難しいと感じる。連携をするという表現を入れてはどうか。

リターナブル容器の転換の具体化は、運用上考えていかなければならないことである。1段階具体化できないか。

事業者への違反指導については、違反物の基準について考えていかないといけない。

環境美化推進員などに、ごみステーションの情報収集の役割を担っていただければいいのでは。

P65のリサイクルプラザの有効活用について、シェアリングサービスとの連携もよいかと思う。

食品ロス削減のためのPOPについては、店頭だとPOPが山ほどあるためどうしても埋没してしまうので、牛乳売り場の目の前の床に貼ったりしたこともある。場所も工夫できるといい。なんにせよ事業者との連携が必要となってくる。

【委員】

P45とP50目標値の協力度を設定するときに7割と8割が記載されていますが、この差は理由があるのか。

【事務局】

ごみを「削減する」よりも、いま燃やせるごみに出している資源物を「資源物として排出する」

第3回玉野市廃棄物減量等推進審議会会議録

審議会協議事項及びその内容

方が取り組みやすいのではないかと判断をしています。また、本計画では上位計画の目標値を達成することとしており、そのためには何グラム減らさないといけない、といった逆算を行っているという背景もございます。

【委員】

生活排水処理基本計画とは、汚泥を減らすための取り組みということでしょうか。

【事務局】

基本的には下水道とし尿は別であり、公共下水道ではないものの処理についての計画ということになります。本計画では、下水道の接続率を上げることでし尿や汚泥の排出が減ることを目標としています。

【委員】

市民啓発について、3010運動は良い取り組みだと思う。食品ロスや資源化についても、広報誌でこういった取り組みをひとつひとつ紹介するなどの検討をしてみしてほしい。

【委員】

生ごみ処理のコンポストについて、補助金は出すのか。

【事務局】

これまでと比較して、3倍の補助金としています。

【委員】

3倍というの知らない人がいる。

【事務局】

コンポストについては、広報たまのにはよく掲載してはいますが、今後も周知、普及啓発をしていきたいです。

【会長】

それでは、本日の議事はこれで終了いたします。会議の進行を事務局へお返しいたします。

【事務局】

会長、ありがとうございました。最後に事務局から2点連絡事項をお伝えします。

1点目は、今後のスケジュールについてです。来年1月に、本日の議論を踏まえた修正案をもとに、パブリックコメントを実施します。その後、2月中旬に、第4回審議会を開催し、パブリックコメントの実施結果及び計画の答申案のご協議を予定しております。具体的な日時につきましては、開催が近づきましたら調整し、ご案内をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

2点目ですが、本日の会議の内容につきましては、前回会議と同様に、後日、議事録について皆様にご確認いただいた後、市ホームページへの掲載などにより公開してまいりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、本日の玉野市廃棄物減量等推進審議会を閉会させていただきます。本日は、お忙しい中誠にありがとうございました。

第3回玉野市廃棄物減量等推進審議会会議録

審議会協議事項及びその内容

【一同】

ありがとうございました。

以上